

写真展「足尾銅山閉山50年」について

特定非営利活動法人足尾鉍毒事件田中正造記念館主催による上記写真展を
6月3日（土）から8月27日（日）まで同館展示室にて開催しています。
是非御覧下さいますようお願い致します。

今回の開催に至るまでの経緯において「足尾の人達」と「谷中の人達」から同じ言葉が届いています。それは、「50年前の写真を見て、それが何なのか、どこなのか、誰なのかなどを明らかに出来るのは今しかない。今を外すとわからなくなる。」という切実な声です。写真に写り込んでいる、今はすでに見ることが出来なくなった人や物を明らかにすることは忘却に抗うことです。そして事実をこの先も綿々とつないでいこうとする行為です。彼らはこれらの写真を誰が撮ったのかを問いません。ただ当時の学生達が集団で撮ったということに驚きといくらかの感慨をもって受け止め、自分達が被写体について明らかにすることや来館者に伝えることで、写真展に参加しています。それを”熱意“としか表現できないのは歯がゆい限りですが、私達にとって大きな支えとなっています。

この記念館での写真展終了後は足尾の観光施設での展示となる予定です。





この写真展は横 180 cm 縦 120 cmのボード 8 面に合計 68 点で構成されています。写真一点一点には場所や内容に関するコメントがつけられています。会場では田中正造記念館の 30 名に上るボランティアスタッフが二人が交代で写真の説明をしていただいております。現在の足尾を知っている方も 50 年前の足尾の様子に深く感じることがあるようです。このボランティアの方の熱意がこの写真展を支えています。また、会場には足尾・谷中・サロマベツの年表と AAJPS の紹介も展示されています。

◎全日資料を北杜市小荒間阿部別荘に集約

5月29日、阿部憲一さんから AAJPS が調査研究のため持ち出している細田工務店けやき寮(小平市)預かりの資料を6月17日必着で戻してほしいとの要請がありました。

一昨年2-3月に「写真の都」物語—名古屋写真運動史: 1911-1972—を開催した名古屋市美術館が今年12月に第2弾の企画を行うに当たり、山梨県北杜市小荒間の別荘に移動保管中の全日・四九一の資料を参照したいとの

申し入れがあり、これに備えるため荷物を揃えたいとのことでした。

小平資料については目録作成、デジタルデータ化を終えたものはお戻しする、という当初からのお約束でしたので、ご要望に応じるべく返送作業を進めました。ただ、台帳作成中の一部ネガやベタについては、混乱回避のため引き続き作業を続け、終わり次第お戻しすることになっています。(福崎)

'65~'79までの全日・491のアーカイブ作りは着々と進んでいます。お手持ちのネガや資料の情報をお知らせください。

お問い合わせ等: 277-0053 柏市酒井根 2-20-11 東 闊 hig811@gmail.com